



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：発電・淡水化施設の建設計画

(1月1日付ガルフ・ニュース紙)

1. 2007年12月31日、ドバイ水道局( DEWA )は、2008年8月に、ジェベル・アリ地域に3000メガワットの電力及び3億ガロン規模の発電・淡水化プラントを建設するための国際入札を行う旨発表した。
2. 本プラント(第一フェーズ)は4年計画で、最終的な巨大計画(1日当たり9000メガワットの電力及び6億ガロンの水を提供)の一部をなすものとなる。
3. 現在、DEWAの利用者は36万人で、06年末時点の処理能力(一日当たり)は電力が4599メガワット、水が2.25億ガロンであったが、ここ数年間で需要は大きく伸びると予想されている。07年には、韓国企業(Doosan Heavy Industries and Constructions)及び伊企業(Eisia Italmimpianti)との間で、1330メガワットの電力及び7000万ガロンの水を提供できる施設に関して17億ドル規模の契約を取り交わしている。

### 参考

1月6日及び7日付現地各紙は、6日に行われた甘利明経済産業大臣とルブナ経済大臣を含む関係先との会談について、ルブナ大臣は、日本の訪問団を歓迎するとともに、両国関係、特に通商、投資、産業及び再生可能なエネルギー分野における関係強化の重要性を強調し、アルミ、肥料(尿素)、セラミックなどのUAE製品が日本市場に受け入れられるようになれば、両国間の通商はより活性化するだろうと言及し、さらに日本に対しては、東南アジア、中東、アフリカへの再輸出を促進するための戦略拠点としてUAEを活用することを求めたと報じている。